



2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 槻田小学校】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	槻田小学校 6年生 97名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック競技でもある「トランポリン」を体験することで、選手の気持ちやトランポリンの楽しさを感じさせるようにする。また、「トランポリン」体験を通して、オリンピック競技に触れ、オリンピック・パラリンピックへの理解を深めるようにする。
5 取組内容	<p>(1)事前の学習では、トランポリンなどの映像を見て、取組への理解を深める活動を行った。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>トランポリンには、色々な技があります。「背落ち」や「バラニーアウト」などたくさんの技があります。ぜひ、簡単なことから体験してみましょう。</p> </div> </div> <p>(2)「トランポリン体験」では、まず、トランポリンがオリンピックではどのように、行われるか、話を聞いた。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>トランポリンはオリンピックでは、静かな会場の中、1人で演技します。だから、他の競技と比べてもとても緊張する競技です。</p> </div> </div>

(3)講師による、デモンストレーションを見学し、活動への意欲を高めた。



あんなに高く跳んでいるのに、3人の動きがそろっていて、すごい!!
宙返りをしたり、股を大きく開いたりする色々な技があるんだー。

(4)実際にトランポリンを体験した
①基本の動き



跳ぶときは、しっかりと膝を曲げて、ジャンプします。腕を回すと、より高く跳べます!!
止まるときは、膝を曲げて、着地すると止まることができます。



凄い!!よく跳ねる!!



ピタッと止まれた!!

②正座からジャンプ



正座でも跳ねれた!!



ピタッと立つことができた!

③長座体の状態からジャンプ



膝を伸ばしても、よく跳ねる!!



立つこともできました!!

④今までの練習の成果を生かして、大きくジャンプ

2階に届きそうなくらい、高い！！



高い！！高い！！よく跳ねる！！

(5)事後の指導では、勉強になったことやこれからの学習に生かしたいことを感想にまとめた。

※とても楽しかったです。家のよけ風が吹いて、とても暑かったです。運動の日の立派な練習量をつけているような感じが良かったです。ありがとうございました。

※家にある_trampolineははまって、とても高く跳べて、楽しかったです。教えてくださる方々も丁寧に教えてくれ、とても分かりやすかったです。お礼やらない様も分かって、とても良かったです。もしも、家にある_trampolineややる機会があったら、覚えておきたいことももう一度思い出してやりたいです。

子どもたちがまとめた感想が掲載された学級通信

(6)外国語科でトランポリンの内容を含めて、オリンピックやパラリンピックのことを発表した。



外国語の授業でトランポリンのことを発表する児童の様子

6 主な成果

子どもたちにオリンピックやトランポリンへの理解を深めるとともに、運動することの楽しさ、友達と応援し合う大切さを学ぶことができた。また、外国語の学習ではオリンピックのスポーツなどを紹介する授業において、今回の体験を取り入れて、発表する児童がいた。(5の(6)参照)

7実践において工夫した点(事業の特色)

事前に校内にトランポリンやオリンピック関係の子どもスポーツ新聞を掲示したり、「トランポリン」を演技する動画を視聴したり、技の説明を受けたりすることで、トランポリンに対するイメージをもたせることができた。「ウエイトリフティング」の全国2位の選手だった外国語専科指導の教員が外国語科などの授業を通して、大会に臨む姿勢や努力することの大切さなどを伝える活動を行った。活動を通して、オリンピックなど出場する選手の思いなどを理解させることができた。また、北九州市内にある「トランポリ協会」を通じて、トランポリン体験を依頼することで、自分が住んでいる市内にあるオリンピックの関係機関に興味をもたせることができた。

8主な課題等

トランポリンの台数や場所の広さなどの関係で体験は、1学年しかできなかった。しかし、1学年が体験をしている様子を他の学年が見学する時間を設けてもよいと感じた。

9来年度以降の実施予定

本実践を通して、子どもたちにオリンピックに対する理解と関心を深めることができた。理解と関心の深まりを生かし、来年度以降は4月から、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組を行っていく。取組の中で、高学年を中心に本実践を出来る限り取り入れ、オリンピックについての新聞などを作成していく。また、出来る限り来年度も東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、講師を招聘し、様々な体験を通して、さらに関心を高めるようにしていきたい。